



株式会社オプトラン  
**2021年12月期**  
**第2四半期決算説明会資料**

2021年8月6日

<b>I. 2021年12月期 2Q 決算の概要</b>	<b>P 3</b>
<b>II. 事業の方向性</b>	<b>P 11</b>



# I . 2021年12月期 2Q 決算の概要

1. 決算ハイライト (2021年 2Q累計)
2. 売上高内訳推移 (四半期毎)
3. 営業利益・利益率 (四半期毎)
4. 受注高 (四半期毎)
5. 連結貸借対照表 (2021年 2Q)
6. CFの状況
7. 業績見通し

# 1 決算ハイライト（2021年 2Q累計）

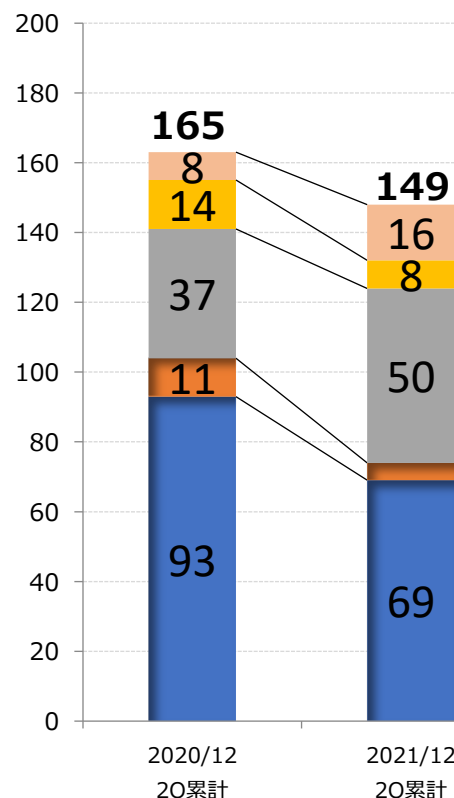


- 2021年度上半期の売上高は、前年同期比9.9%減少し、149億円。IoTが堅調。
- 原価率は新型装置売上と原価削減努力が貢献し、前年同期比大幅改善。販管費はほぼ計画通りの水準。為替要因により、経常利益は前年同期水準となり、各利益率も改善した。
- 受注高は、世界的半導体不足の影響による顧客設備投資の後倒しにより、前年同期比12%減少し165億円。新型装置受注高はALD装置を中心に好調を維持している。
- 2021年は光学薄膜技術の顕著な高度化や半導体関連の新たな成膜技術の実用化開発の年であり、3D技術、5G対応の光通信分野での開発、ヘルスケア分野でのバイオセンサー開発等、多岐にわたる研究開発活動を加速している。

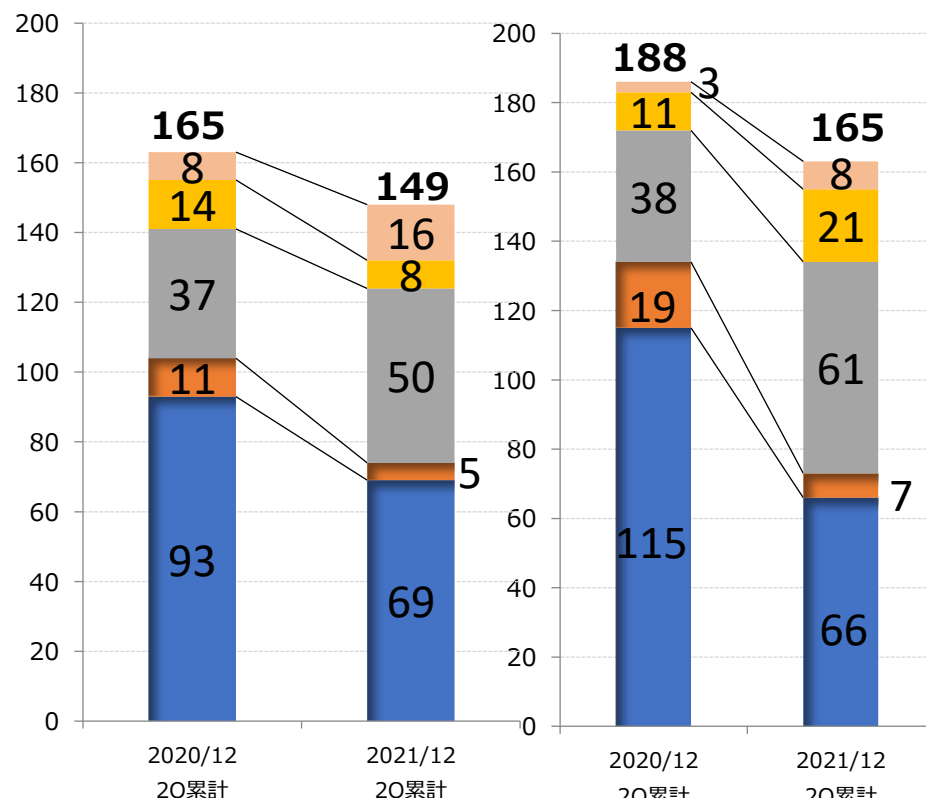
【業績比較】

	2020年12月期 2Q累計	2021年12月期 2Q累計	前年同期比
売上高	165	149	△9.9%
売上総利益 (売上総利益率)	66 (40.1%)	67 (45.2%)	1.5%
販管費 (販管費率)	30 (18.1%)	33 (22.3%)	10.7%
営業利益 (営業利益率)	36 (22.0%)	34 (23.0%)	△6.1%
経常利益 (経常利益率)	39 (23.8%)	39 (26.2%)	△0.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (親会社株主に 帰属する四半期純利益率)	28 (17.4%)	27 (18.3%)	△5.1%
研究開発費 (売上高研究開発費率)	17 (10.3%)	17 (11.9%)	3.7%
設備投資額	4	4	△3.2%
受注高	188	165	△12.4%
受注残高	347	251	△27.6%

(億円)【分野別売上高】



【分野別受注高】

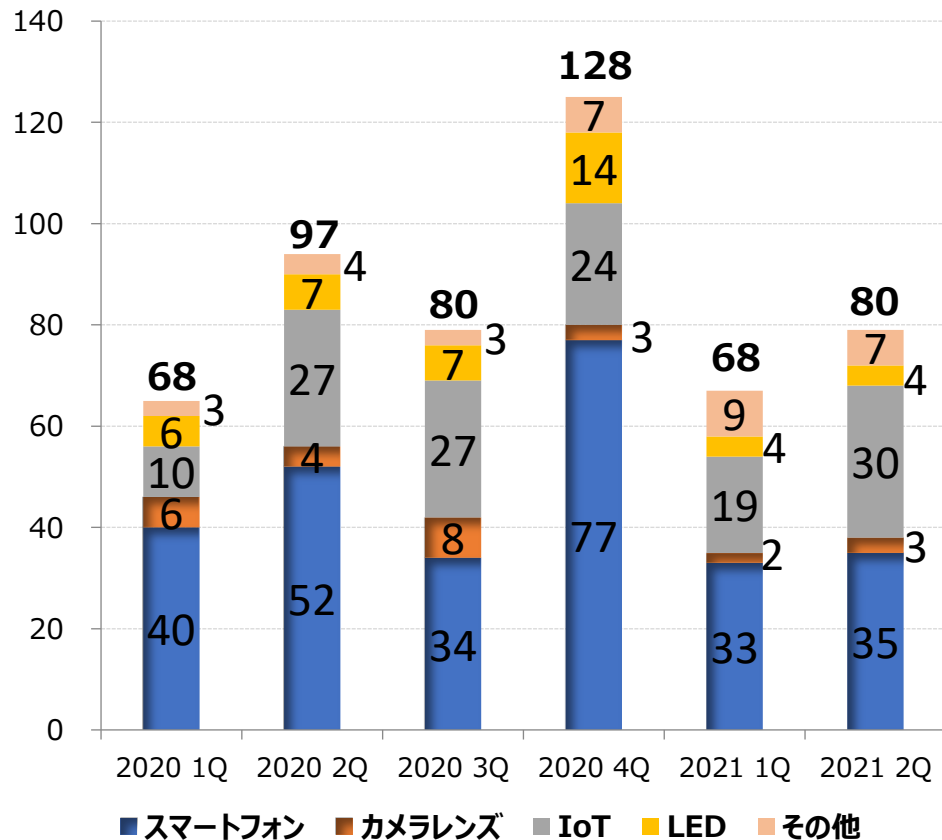


■ スマートフォン ■ カメラレンズ ■ IoT ■ LED ■ その他

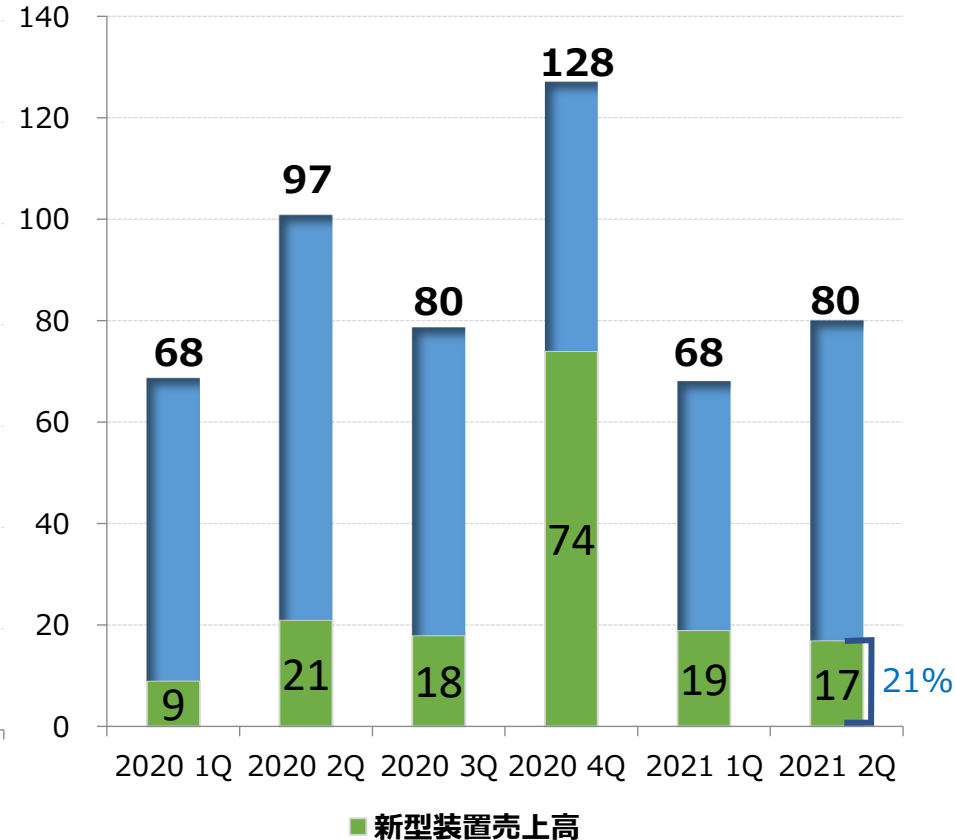
# 2 売上高内訳推移（四半期毎）

- IoTが堅調（売上の38%）、特に生体認証（ウェアブル端末向け）が貢献。
- スマートフォン売上は、カメラモジュール・加飾が中心。
- 新型装置の売上高比率21%（ALD、新型スパッタ装置、光通信向け、LED向け）

【分野別売上高】



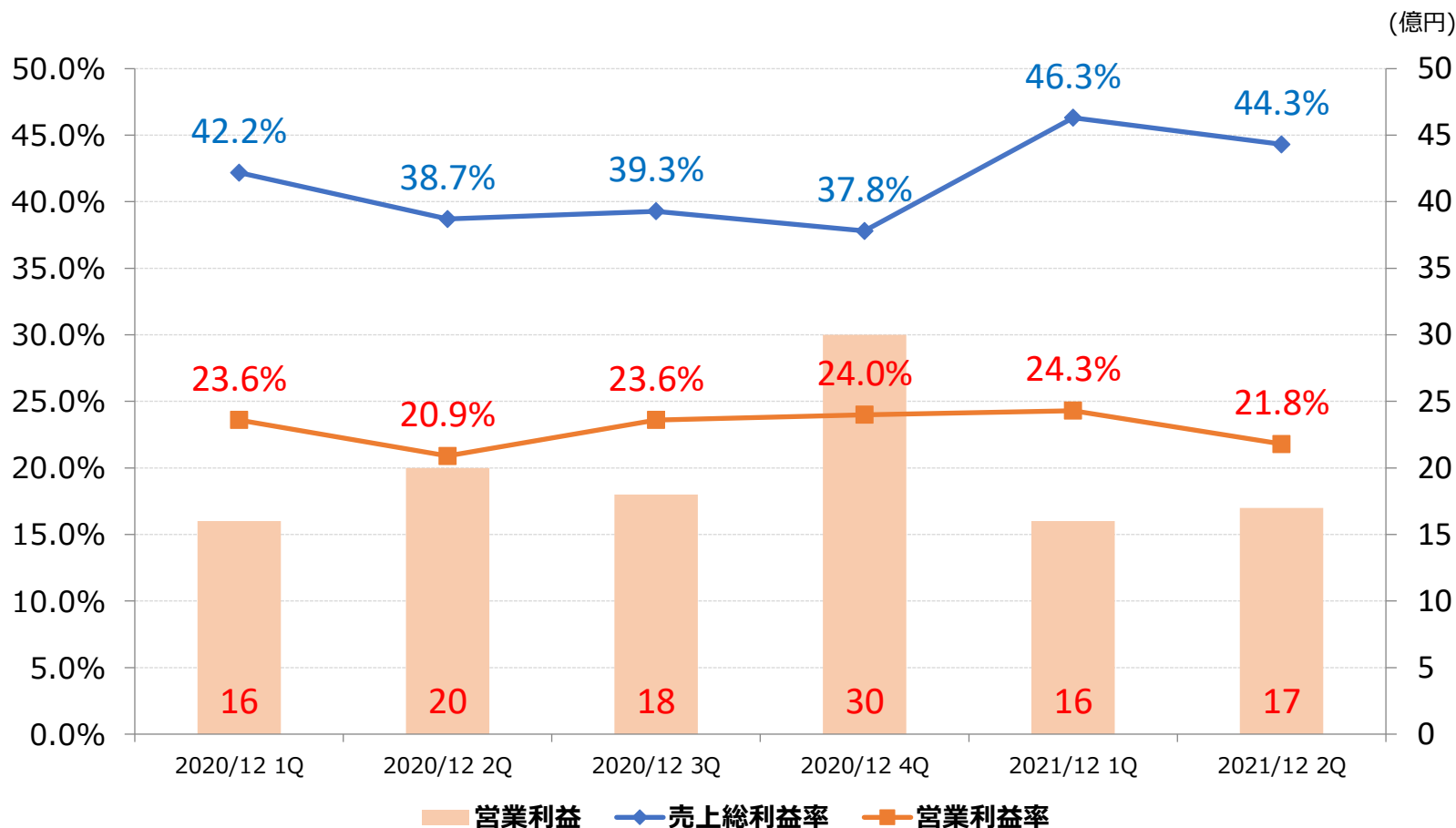
（億円）【新型装置売上高】



### 3 営業利益・利益率（四半期毎）



- 2021年2Qの売上総利益率は、新型装置が貢献し、高水準を維持（44.3%）
- 研究開発活動による販管費増により、2Q営業利益率は21.8%

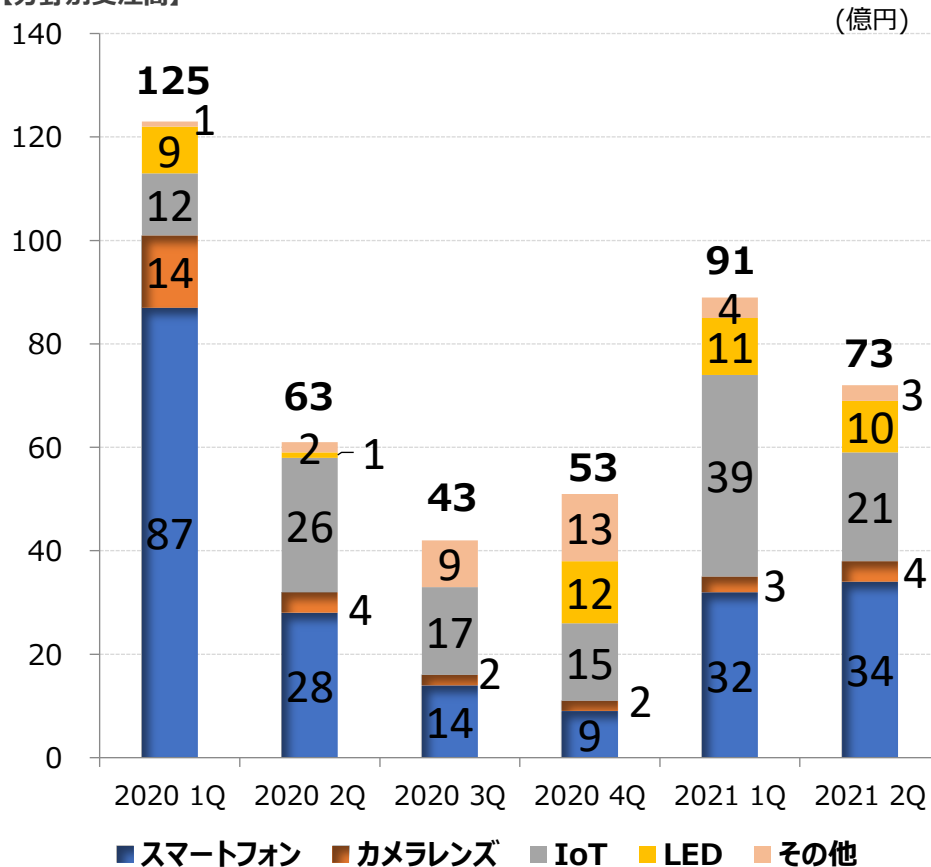


# 4 受注高（四半期毎）

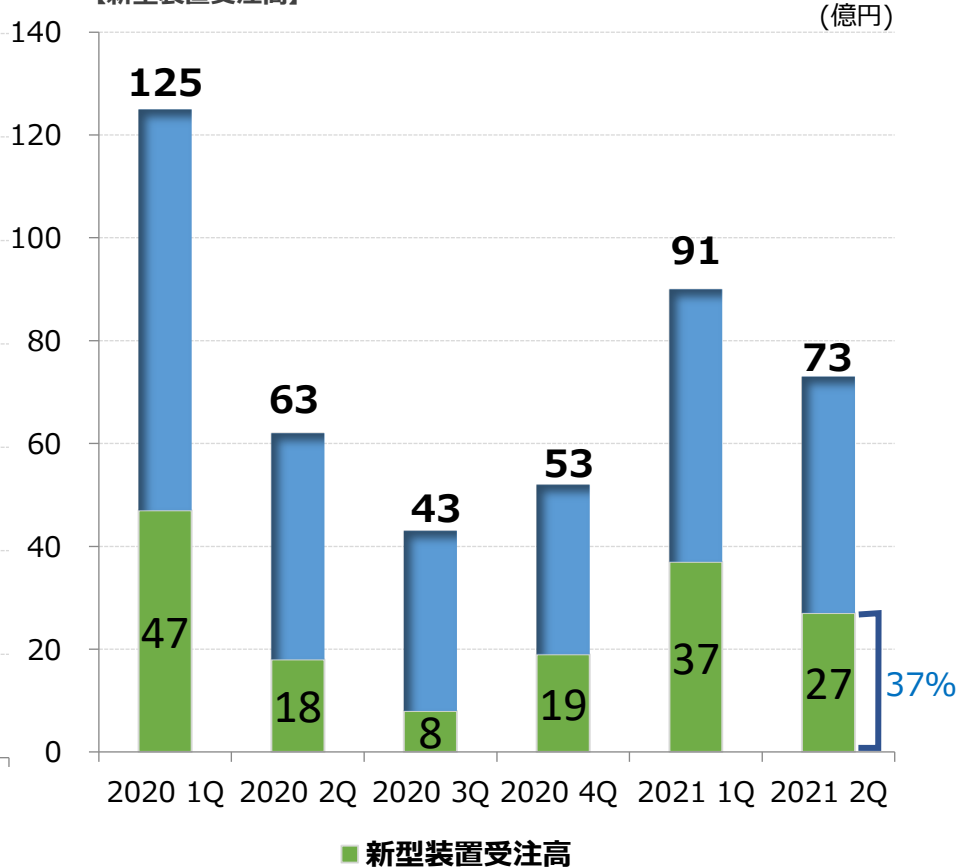


- 2021年2Qの受注高は、半導体不足の影響により73億円（前四半期比△19%）。
- スマートフォンは引き続き堅調、IoT受注は、車載、光通信、生体認証が貢献。
- 新型装置の受注はALD装置を含め好調を維持（受注の37%）

【分野別受注高】



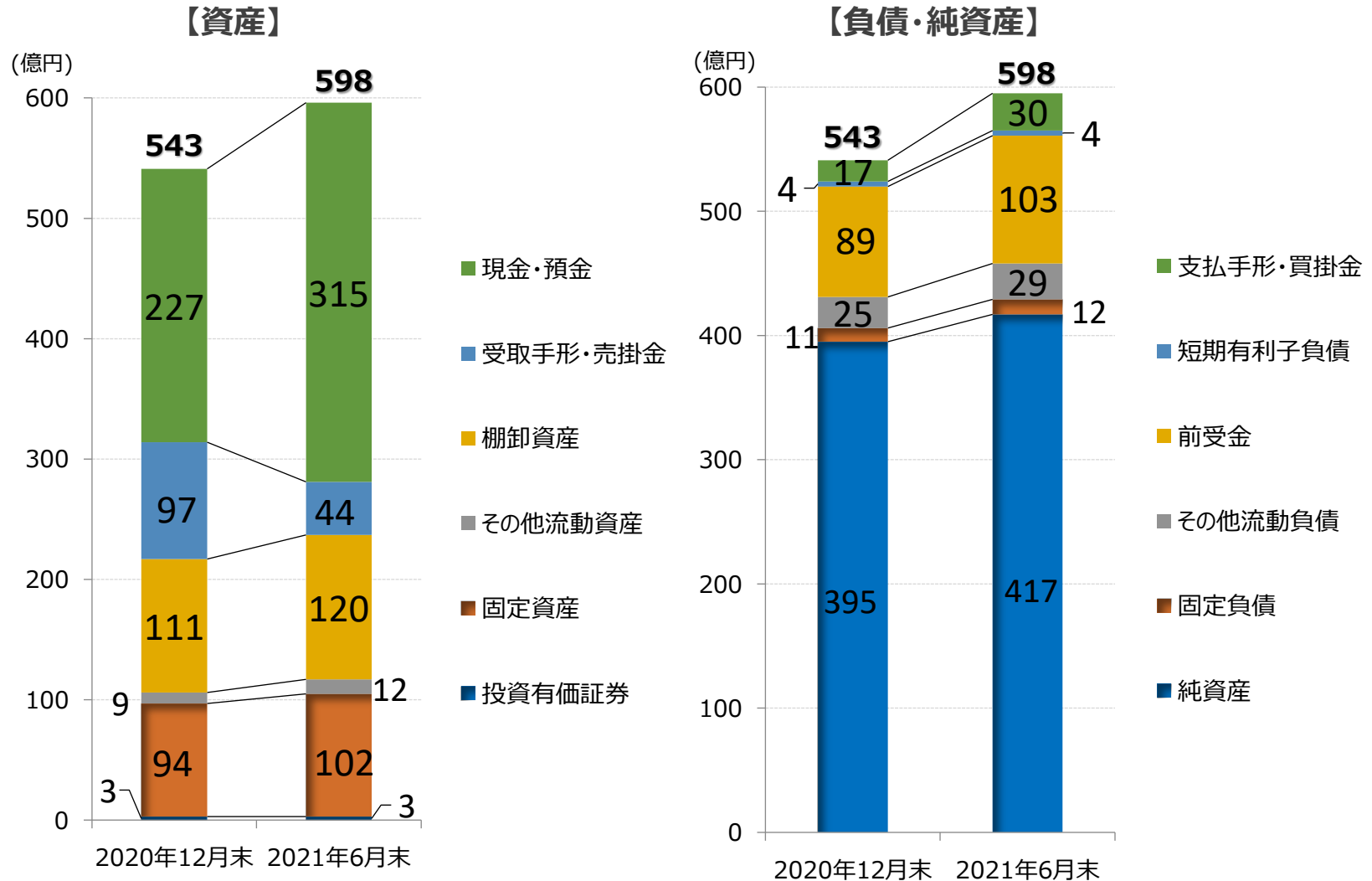
【新型装置受注高】



# 5 連結貸借対照表 (2021年 2Q)



- 現金・預金88億円増（売上債権回収ため）、前受金14億円増（受注増による）。





# 6 CFの状況



(億円)

	2020年12月期 2Q累計 金額	2021年12月期2Q累計		主な要因
		金額	増減額	
営業活動によるCF	6	107	100	売上債権回収のため
投資活動によるCF	△4	△4	0	有形固定資産の取得のため
財務活動によるCF	△25	△21	3	配当金の支払いのため
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△1	6	8	
現金及び現金同等物の増減額	△24	88	112	
現金及び現金同等物の期首残高	269	227	△42	
現金及び現金同等物の期末残高	245	315	70	

# 7 業績見通し



- 世界的な半導体不足が、セクター全般に渡って当社顧客の設備投資活動を後ろ倒しにしており、足元の当社受注に影響が生じております。
- 見通しが不透明な中、この傾向は年度内を通じて続くことも考えられ、第3四半期以降の受注動向を注視しております。業績予想の修正が必要と判断しました場合には、速やかに開示いたします。
- 今後の市場需要を取り込むための新製品開発に向けた研究開発活動は多方面に渡り確実に成果を上げており、中長期的な持続的成長の実現を目指して参ります。

(億円)

	2020年12月期 実績	2021年12月期 予想	前期比
売上高	374	381	+1.6%
営業利益	86	90	+4.3%
(営業利益率)	(23.0%)	(23.6%)	—
経常利益	86	90	+4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	70	+3.0%

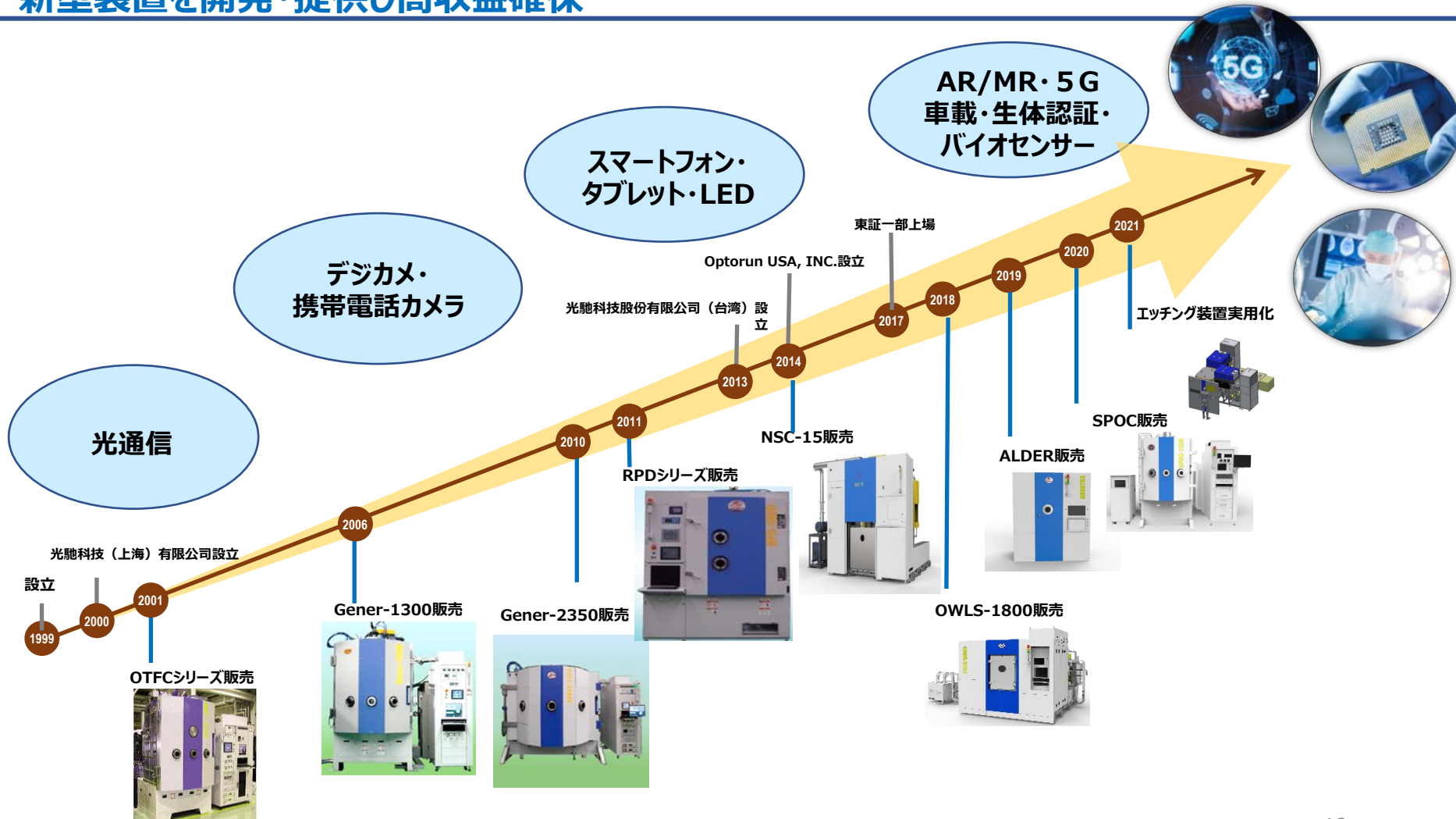


## Ⅱ. 事業の方向性

1. 装置開発の沿革
2. 半導体光学融合（成長）+ 3D（差別化）
3. アプリケーションの広がり
4. 装置ラインナップ
5. トピックス
6. サステナビリティの取り組み

# 1 装置開発の沿革

- 常に最先端の技術難度に挑戦し、最高水準の光学薄膜装置を開発する研究開発型企业
- 新型装置を開発・提供し高収益確保



# 2 半導体光学融合（成長） + 3D（差別化）

## マーケット



スマートフォン

約15億万台（2025年）  
・機能高度化（広角レンズ、  
ディスプレイ、加飾）



AR/MR

約16兆円（2030年）  
・スマートグラス普及



車載

・自動運転  
・センシング



5G

基地局市場：約11兆円  
（2025年）  
・5G普及



ヘルスケア

・バイオセンサー普及

## 対象デバイス

### 光学デバイス

- 3Dレンズ
- 3Dパネル
- AR/AG/AS
- 回析格子

### オプトロニクス

- Mini/Micro LED
- レーザー
- RFフィルター
- パワーデバイス
- CMOS Sensor

### バイオセンサー

- 電気化学センサー用電極
- X線検知器用センサー

## 当社技術

### 成膜技術

蒸着

スパッタ

**ALD**

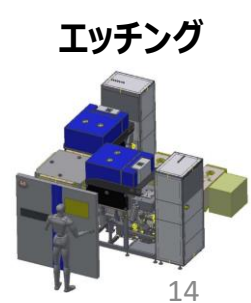
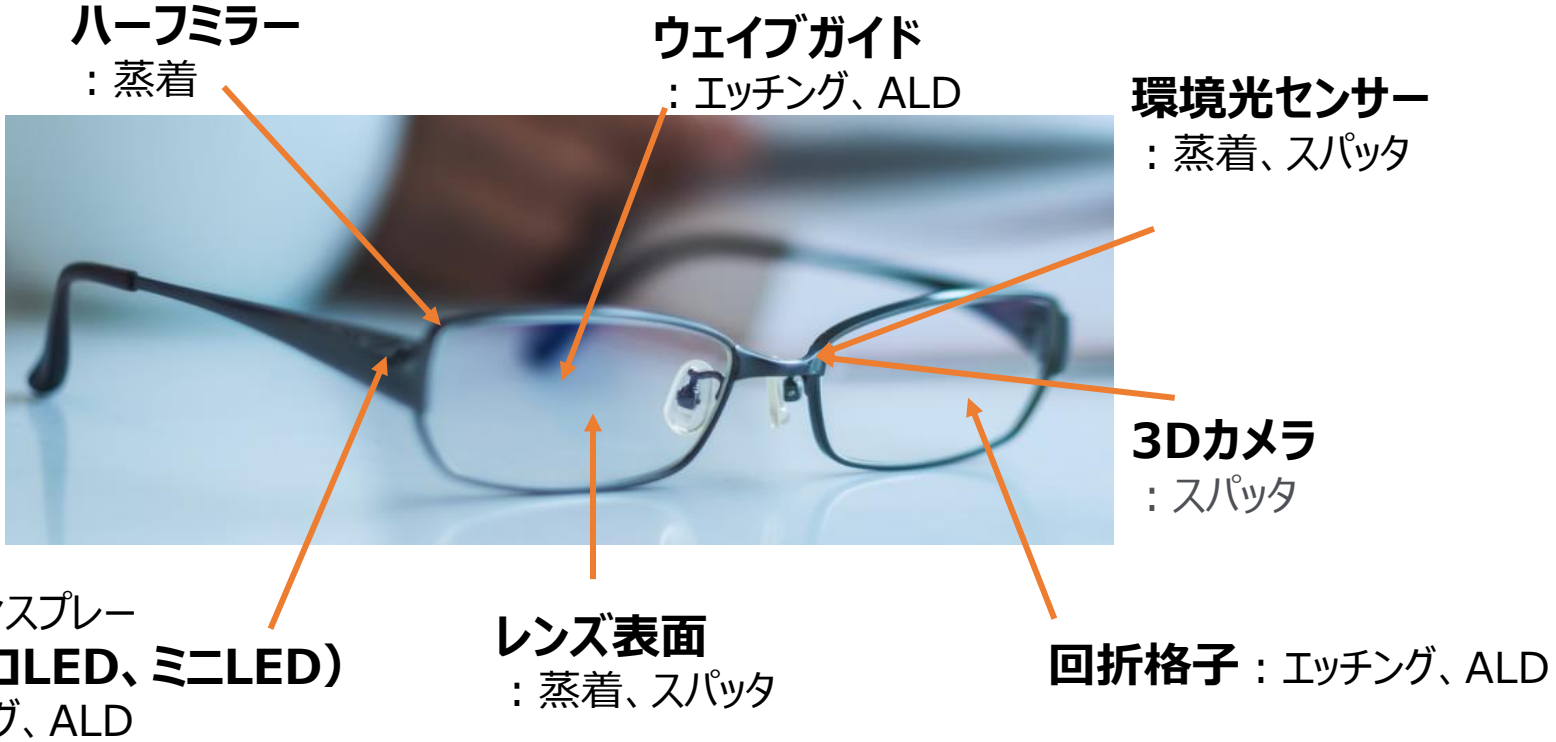
### 蝕刻技術

**エッチング**

3D対応

# 3-1 アプリケーションの広がり (AR/MR)

## ● ARグラス普及→ 今後の成長ドライバー





# 3-2 アプリケーションの広がり（車載）

## ● 車の移動端末化→ 成膜対象領域の拡大



- ・内装の3Dディスプレイ化
- ・光部品増加各種センサーの搭載数増（3Dカメラ、Lidar、Radar）

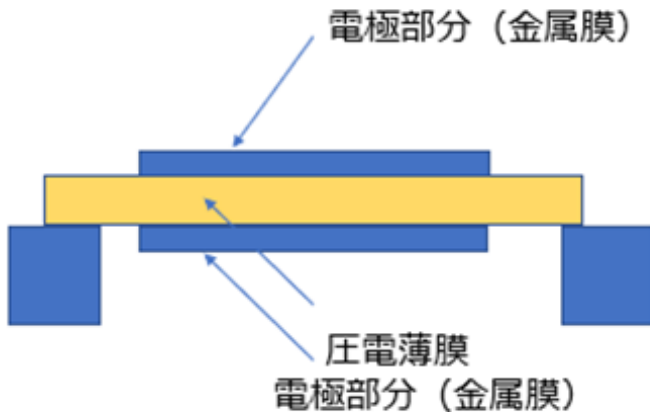
スパッタ装置



# 3-3 アプリケーションの広がり (5G)

## ● 世界の5G浸透→端末+通信局両方での事業機会領域の拡大

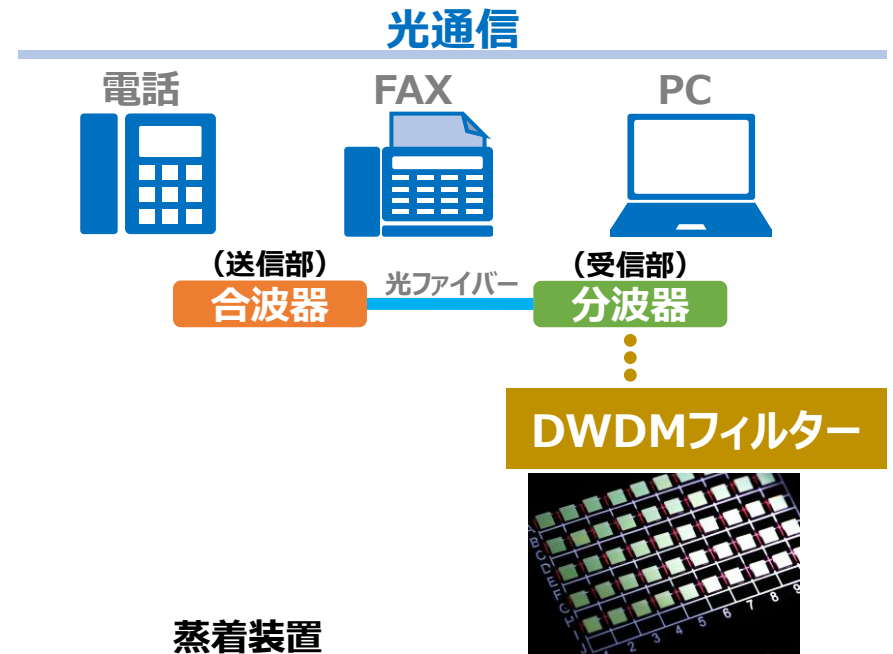
【端末】  
例) BAW filter構造図



スパッタ+エッチング+ALD

RFフィルターデバイス向けエッチング装置及び成膜装置は開発中です。

【通信局】



蒸着装置





# 3-4 アプリケーションの広がり（バイオセンサー）

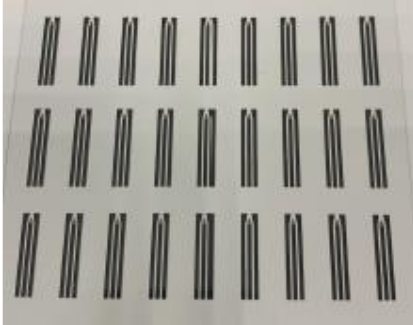
- 人々の健康と安心に貢献。

【バイオセンサー】

バイオセンサ 電極膜



Thin Film Bio Sensor



利用例：医療、環境、食品  
血糖値や尿、農薬や有害重金属の検出。









バイオセンサー：  
お客様が低コストで有害物質の検出が可能



国内大学との共同開発により、実用化加速。

# 4 弊社装置ラインナップ



	(1)OTFC	(2)Gener	(3)SPOC	(4)RPD	(5)NSC	(6)OWLS	(7)ALDER	(8)Etching
								
成膜方式	イオンビームアシスト蒸着			リアクティブ プラズマ	スパッタリング		ALD 原子層堆積	プラズマドライエッチング
成膜面	平面	平面	平面	平面	平面	平面	平面	エッチング面
	3D曲面	3D曲面			3D曲面	両面 3D曲面	3D形状全面	平面
膜種例	AR AS 波長選択フィルタ LPF SPF IR Cut BPF LED DBR 装飾膜	AR AS 波長選択フィルタ 装飾膜	超多層膜 波長選択フィルタ DWDM NBPF CWDM NBPF	LED ITO LED Buffer	硬質 AR AS 波長選択フィルタ LPF SPF BPF 装飾膜	硬質 AR AS 波長選択フィルタ LPF SPF BPF 装飾膜	AR 保護膜	エッチング膜 ・各種絶縁膜Etching (ガラス、石英、サファイヤ、 SiO <sub>2</sub> , SiN等)
用途例	光学デバイス スマートフォン 監視カメラ 車載 スマートグラス (AR/VR) 医療 スマートスピーカー 3D形状		光通信デバイス	LED Mini / Micro LED	光学デバイス スマートフォン 3D形状 車載 バイオセンサ	光学デバイス 半導体 3D形状両面 スマートフォン スマートウオッチ バイオセンサ	光学デバイス 半導体 Mini/Micro LED スマートフォン 3D形状 バイオセンサ	LED Mini / Micro LED AGガラス

# 5 トピックス

## 1. ALD装置事業新中国子会社設立（6月23日開示）

- フィンランドのベンチャー企業であったAflyに3年前に出資し、オプトランとの共同技術開発を通じて、業界に先駆けてALD技術の光学分野への応用および実用化に成功。
- 研究開発から事業フェーズへの移行に合わせ、主たる市場である中国を本拠地とする新子会社を設立し、本格事業拡大を目指す。

## 2. 光学デバイス向けドライエッチング装置を実用化（6月29日開示）

- 本装置では、ガラス表面へ防眩加工をする事で、入射光を乱反射させ、ガラス表面への光の写りこみを抑制することが可能（ギラツキ低減、外光の反射を抑える）。
- ウェットエッチングで問題となっていた排出される廃液問題処理負担を本装置にすることで軽減することが可能（環境負荷を低減した製品）。
- 今後は、RF フィルターデバイス等に対応した装置開発を進めていく。
- **新型装置Web発表会を実施する。8月31日（火）10:00予定**

# 6 サステナビリティの取り組み


当社では、SDGs / ESG 等の社会的要請に対しても真摯に向き合い、多くの方々から信頼される企業として事業に反映させております。今後、コーポレートガバナンスコード改訂対応等により、ガバナンス体制強化及び情報開示を充実させていきます。

### 環境

#### 地球環境保全

- ・環境に配慮した部品の積極調達
- ・工業廃水処理の徹底と節水
- ・排ガス処理と管理の徹底
- ・廃棄物削減、リサイクルの推進
- ・省エネ化・省資源化に向けた製品開発

<対応するSDGs項目>



### ガバナンス

#### 適切な管理

- ・コーポレートガバナンス
- ・コンプライアンス
- ・リスクマネジメント

<対応するSDGs項目>



### 社会

#### 生活をより豊かにするための技術貢献

【成膜例】


- ・スマートフォンの生体認証、タッチパネル、筐体保護
- ・光通信の情報伝達に不可欠なDWDMフィルタ
- ・自動車のインストゥルメンタルパネル
- ・LEDの輝度向上・省電力化
- ・AR/VRデバイスの反射防止・筐体保護

#### 人々の健康や安心につながる技術貢献

【成膜例】

- ・監視カメラ内レンズ・フィルタやセキュリティ向け生体認証
- ・自動車の自動運転技術に用いられるセンサー等のデバイス
- ・X線撮影装置
- ・バイオセンサーの研究支援と貢献  
※早稲田大学との共同研究

<対応するSDGs項目>



#### 企業活性化

- ・性別・国籍を問わない人材活用
- ・多様な社員構成のグローバル展開
- ・社員モチベーション向上への取組み
- ・労働安全衛生

<対応するSDGs項目>



当資料に記載された内容は、2021年8月5日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## 【お問合せ先】

E-mail : [ir-info@optorun.co.jp](mailto:ir-info@optorun.co.jp) TEL : 03-6635-9487